

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No.	2911
----------	------

科目概要記入欄

1. 開設大学名	島根県立大学			科目開講 キャンパス	浜田キャンパス	
2. 科 目 名	正式科目名	コミュニティ政策			クラス名	
	副題				配当年次	2, 3
					受入学年	
	旧科目名					
	学問分野	番号	27	名称	社会科学系／その他	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	杉岡 秀紀					
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	春（集中）		
6. 開講期間 曜日・時間	2020 年 9 月 1 日（火）～2020 年 9 月 4 日（金）集中講義 火～金曜日 9:00～18:00					
個別開講日	1 回目 9/1	2 回目 9/2	3 回目 9/3	4 回目 9/4	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /	16 回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 （ ） ②. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 （総授業定員）	5 人 （ 人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		

10. 科目内容・ 授業計画	皆さんの地域のコミュニティは活性化していますか？少子高齢化、人間関係の疎遠化、生活形態の多様化等によって、地域コミュニティは多くの課題を抱えています。これらの課題を解決していくためには、どのようなコミュニティ政策が必要でしょうか？ 本講義では、皆さんと共に、多様な視点から、地域内のコミュニティ、ひいては日本のコミュニティのあり方について、考察していきます。講義形式だけでなく、ペアワーク、グループワークも取り入れながら進めます。		
	【到達目標】 「市民」としての基礎的な素養を身に付けると同時に、コミュニティにおいてコーディネーターとして活動できる構想力、コミュニケーション能力を養うことを目標とする。		
	【授業計画】 第1回：ガイダンス（自己紹介、講義の概要、コミュニティとは何か） 第2回：コミュニティと自治～住民自治・団体自治～ 第3回：コミュニティと分権～地方分権・地域主権～ 第4回：コミュニティと公共～新しい公共～ 第5回：コミュニティと人口減少～地域創生・関係人口～ 第6回：コミュニティと地縁組織～自治会・町内会、地域運営組織～ 第7回：コミュニティとボランティア～NPO・CSO・プロボノ～ 第8回：コミュニティと企業～ソーシャルビジネスと社会企業家～ 第9回：コミュニティと合意形成～フューチャーセンター～ 第10回：コミュニティと人材～人材育成と研修～ 第11回：コミュニティと大学～地学連携・域学連携～ 第12回：コミュニティとコミュニケーション～ワークショップの技法～ 第13回：事例研究① 第14回：事例研究② 第15回：事例研究③、まとめ 最終回：レポート試験 ＊授業の進行によっては、一部変更することがあります。		
	【テキスト】 特になし（毎回レジュメを配ります）		
	【参考文献】 1. 佐藤竺監修/今川晃・馬場健編『市民のための地方自治入門（新訂版）』（実務教育出版、2009） 2. 真山達志・今川晃・井口貢『地域力再生と政策学』（ミネルヴァ書房、2010） 3. 今川晃編『地域公共人材をつくる』（法律文化社、2013） 4. 今川晃監修『そろそろ、この街の話をしようじゃないか』（公益財団法人草津市コミュニティ事業団、2014年） 5. 青山公三・小沢修司・杉岡秀紀・藤沢実『もうひとつの「自治体行革」』（京都政策研究センターブックレット vol. 2）（公人の友社、2014） 6. 白石克孝・石田徹編『持続可能な地域実現と大学の役割』地域公共人材叢書第3期第1巻（日本評論社、2014） 7. 今川晃編『地方自治を問いなおす』（法律文化社、2014） 8. 杉岡秀紀編著『地域力再生とプロボノ』（京都政策研究センターブックレット vol. 3）（公人の友社、2015） 9. 青山公三・小沢修司・杉岡秀紀ほか『地域創生の最前線（京都政策研究センターブックレット vol. 4）』（公人の友社、2016） 10. 青山公三・小沢修司・杉岡秀紀ほか『「みんな」でつくる地域の未来（京都政策研究センターブックレット vol. 5）』（公人の友社、2017） 11. 原田晃樹・杉岡秀紀『合併しなかった自治体の実際』（公人の友社、2017） 12. 平尾剛之・内田香奈編『NPO 最善戦』（京都新聞出版センター、2018） 13. 今川晃・牛山久仁彦『自治・分権と地域行政』（芦書房、2019）		
	11. 試験・評価方法		
	平常点：50点（出席及び質問・発言内容） 最終レポート試験：50点		
	12. 別途負担費用		
	13. その他特記事項		
	本講義は夏期集中講義となります。		
14. サテライト科目 の社会人受講につい て	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否